

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち		評価 担当	局名	総務局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生			課(室)名	広聴広報課
	施策	参画・協働の推進			電話番号	087-839-2111
	基本事業	広聴・広報機能の充実			事業実施主体	市
	事務事業	市民相談事業			事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	文書や電話・来訪等で寄せられる市民の意見・相談・苦情・要望など、広聴広報課市民相談コーナー（市役所1階）で受け付けるもので、問題の内容によって関係機関と検討の上、早期解決に努めている。 相談業務としては、市政相談、一般相談、専門相談を、広聴業務としては、市長への提言、市政出前ふれあいトーク、市長まちかどトーク事業などを実施している。				
年度概要	○市政相談、一般相談、専門相談（弁護士法律相談等）等相談業務 ・弁護士法律相談は年間95回実施予定、司法書士法律相談は年間22回実施予定としている。 ○市長への提言、市政出前ふれあいトーク、市長まちかどトーク等広聴業務 ・市政出前ふれあいトークは146のテーマの中から選択でき、市長まちかどトークは年間5回程度予定している。市長への提言等は常時受け付けている。				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

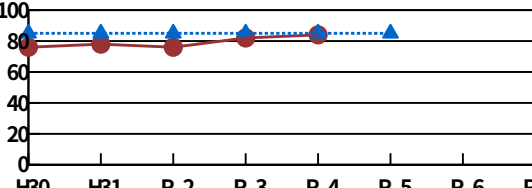
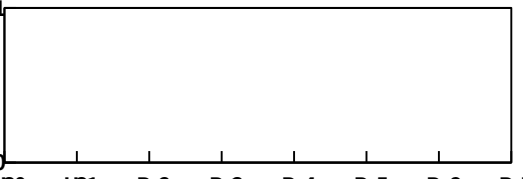
【事業の目的】

対象（何を）	市民及び周辺住民
意図（どのような状態にしたいか）	相談業務を通して、市政に対する意見・苦情を始め、住民が抱えている疑問や問題解決へ向けた相談に応じる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
①	法律相談の稼働率	%	86	60	85	60	90
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	法律相談利用者の満足度	%	目標値	85	85	85	85	85
			実績値	76	82	84		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 98.8% 34点
成果指標②	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔千円〕	33,597	35,987	36,785	37,180
（事業費）	〔千円〕	8,158	10,317	11,339	11,734
（職員人件費）	〔千円〕	25,439	25,670	25,446	25,446

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
市民の声を市政に反映するとともに、日常生活における様々な問題を解決するため、各種相談事業を実施してきた。市民満足度の向上と市民の市政参画の推進を図るため、今後とも、より相談体制の充実に努めながら継続して事業を実施する必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
市民の声を市政に反映し、市民サービスの向上を図るとともに、日常生活における様々な問題を解決するため、各種相談事業を実施している。また、市民満足度の向上と市民の市政参画の推進を図るため、今後とも、より相談体制の充実に努めながら継続して事業を実施する。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち		評価担当	局名	総務局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生			課(室)名	広聴広報課
	施策	参画・協働の推進			電話番号	087-839-2161
	基本事業	広聴・広報機能の充実			事業実施主体	市
	事務事業	テレビ放送等広報事業			事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市政に対する関心と理解を深めるため、市政の重要施策や制度など市民生活に関わりの深い事業やイベント、ニュース、市民の多彩な活動の様子などを、市民にわかりやすく伝える番組を作成し、民放テレビやケーブルテレビ、動画配信サイト「高松ムービーチャンネル」、FMラジオ放送などの広報媒体を活用して効果的に伝える。					
年度概要	民放テレビ放送 - 番組内での市政情報コーナー 月1回 - 歴史・文化番組 年3回 ケーブルテレビ - 番組内での市政情報コーナー 月1回更新					
重点取組事業			市長マニフェスト	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）	

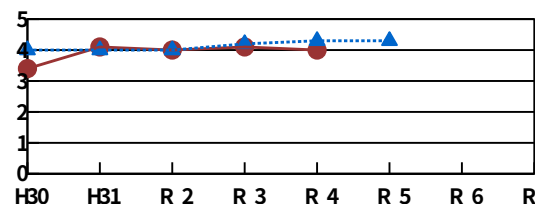
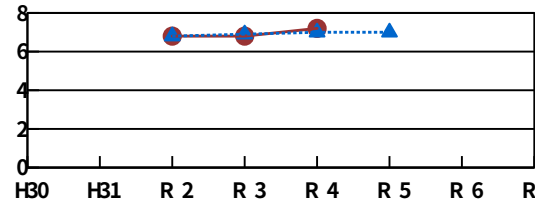
【事業の目的】

対象（何を）	市民及び周辺住民					
意図（どのような状態にしたいか）	市政情報や市の魅力を発信し、市政への理解を促すとともにシビックプライドの醸成を図る。					

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 民放テレビ広報番組制作数	本	16	17	21	15	20
② C A T V 番組制作数	本	53	72	54	48	56

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標①	民放テレビ広報番組視聴率【年平均】	%	目標値	4	4.2	4.3	4.3	4.4
			実績値	4	4.1	4		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
市政番組（3分）の年間平均視聴率は4％と目標値を下回ったものの、放送回によっては最高視聴率が6.1％となっている。今後とも市民生活に役立つ情報を効果的に発信する		（目標達成度） 						
成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標②	C A T V 市政広報番組視聴割合	%	目標値	6.8	6.9	7	7	7.2
			実績値	6.8	6.8	7.2		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
3年ごとに実施している広報アンケートにおいて、C A T V 市政情報番組を「よく見ている」「ときどき見ている」と回答した人の割合は、全体の7.2％であった。今後とも、幅広い年齢層の視聴者に番組を継続して視聴してもらえるよう内容の充実を図る。		（目標達成度） 						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔千円〕	37,061	37,736	31,220	30,545
（事業費）	〔千円〕	19,852	20,371	14,007	13,332
（職員人件費）	〔千円〕	17,209	17,365	17,213	17,213

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
親しみやすい広報番組を目指し、民放・ケーブルテレビにおいて、広報番組を制作・放映した。また、市の魅力を発信するシティプロモーション広報動画を制作し配信することで、市民のシビックプライド醸成に取り組んだ。一方、情報媒体が多様化する中、情報収集の方法は、世代によって異なるとともに変化していることから必要な情報を必要な人に届けるため、対象となるターゲットや発信内容に応じて各媒体の特性を生かした情報提供が必要である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
テレビやラジオなどの広報媒体を活用し、市政情報や市の歴史・文化など、市の魅力を効果的に発信することで、市政への理解とシビックプライドの醸成を図る。また、広報高松とSNSなどを連携させるメディアミックスを活用し、より効果的な情報発信を行う。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	広聴広報課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2161
	基本事業	広聴・広報機能の充実		事業実施主体	市
	事務事業	ホームページ等管理運営事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の広報媒体の中で、速報性が高く、より広範囲に情報を発信できるホームページ通じて、本市の施策や取り組み、観光情報などの市政情報を、タイムリーに発信するとともに、民間ソーシャルメディアを活用した動画配信サイトを開設し、写真や文字だけでは伝えることができなかった情報を映像で効果的に発信していく。				
年度概要	・ホームページ管理運営 ・SNSによる情報発信（ツイッター、フェイスブック、LINE） ・広報動画配信サイト管理運営 ・公式LINE管理運営				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	市からの各事業のお知らせや地域の身近な情報を配信し、市民の市政への理解・協力を深めてもらうとともに、行政と市民との協働の強化、市政への参画を促す。また、本市の持つ様々な魅力ある資源や情報を積極的に国内外へ発信し、市のPRを行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 情報更新件数（新着件数／年）	件	6,927	3,274	2,972	1,500	1,500
② インターネット広報動画配信件数	本	49	119	159	60	60

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）

インターネット広報動画再生件数

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

ホームページやSNSを通じて市政情報や市の魅力を紹介する広報番組等を随時配信することで、動画再生回数も前年度の約2倍となり目標数を大きく上回っている。

（目標達成度）



単位

回

種別

目標値

15,000

16,000

16,500

17,000

16,500

実績値

15,946

36,758

66,271

50000

60000

40000

20000

0

H30

H31

R 2

R 3

R 4

R 5

R 6

R 7

（達成度）

401.0%

35点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）

市ホームページ（サイト全体）へのアクセス数

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

様々な市政情報をタイムリーに掲載したことで、ホームページ全体のアクセス数は、目標を大きく上回っている。

（目標達成度）



単位

件

種別

目標値

15,000,000

15,000,000

15,000,000

15,000,000

15,000,000

実績値

27,491,395

39,943,657

35,538,941

00000000

00000000

00000000

00000000

00000000

00000000

0

H30

H31

R 2

R 3

R 4

R 5

R 6

R 7

（達成度）

236.9%

35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	18,841	17,623	14,777	18,442
（事業費）	〔円〕	9,863	8,563	5,796	9,461
（職員人件費）	〔円〕	8,978	9,060	8,981	8,981

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
スマートフォンの普及に伴い、ホームページやSNSなどのデジタルツールを活用した情報発信の重要性は、ますます高まっている。R 4年度は、市公式LINE「たかまつホットLINE」をリニューアルしたため、今後、LINE等のSNSや広報動画、ホームページを活用した効果的な情報発信に取り組む必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
今後は、本市公式LINEやTwitterなどの各広報媒体の特性を生かし、ターゲットや発信する内容に応じて、最も効果的な広報媒体で情報提供を行う。また、広報動画とSNSを連携するメディアミックスや広報高松から市ホームページへ誘導するクロスコミュニケーションといった手法を一層活用し、より効果的な情報発信を図る。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち		評価担当	局名	総務局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生			課(室)名	広聴広報課
	施策	参画・協働の推進			電話番号	087-839-2161
	基本事業	広聴・広報機能の充実			事業実施主体	市
	事務事業	広報高松等発行事業			事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の制度や取組など、様々な市政情報を市民に分かりやすく提供することにより、市民生活の利便性を向上させるとともに、市政に対する関心と理解を深め、情報の共有化を進める。				
年度概要	・広報高松発行（毎月1日発行、年12回） ・点字等広報発行（毎月10日発行、年12回） ・声の広報発行（毎月1日発行、年12回）				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	市内全世帯
意図（どのような状態にしたいか）	市民に対し、市の施策・事業の目的を始め、市民が利用できる行政サービスや参加できる行事などの情報を提供し、市政についての理解や協力を得るとともに、市民の市政（まちづくり）への積極的な参画を促す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 広報高松発行部数	部	2,398,400	2,399,400	2,398,900	2,400,000	2,400,000
② 広報高松配布部数	部	2,332,098	2,336,893	2,341,250	2,358,000	

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	広報高松を読んでいる人の割合	%	目標値	70	70.5	71	71.5	71
			実績値	68.6	68.6	86.8		
								(達成度) 122.3% 35点
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)							
成果指標②	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
								(達成度)
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	円	111,531	106,996	108,007	141,473
（事業費）	円	92,826	88,121	89,297	122,763
（職員人件費）	円	18,705	18,875	18,710	18,710

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 市民により読んでもらえるよう、特集記事の拡充など内容や構成等を見直した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 広報高松は、市政情報を発信する上での基幹媒体であり、市民に役立つ市の施策や制度・イベント情報などを発信するとともに、歴史や文化、特色ある地域資源などの市の魅力を伝える情報を発信することでシビックプライドの醸成を図る。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち		評価担当	局名	総務局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生			課(室)名	広聴広報課
	施策	参画・協働の推進			電話番号	087-839-2161
	基本事業	広聴・広報機能の充実			事業実施主体	市
	事務事業	吹奏楽団事業			事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	・楽団の演奏活動を通じて親しまれる市役所とともに、市民との協力関係の強化を目指す。 ・市民主体のまちづくりのために、地域のイベントや小学校への訪問演奏などを行い、音楽を通じて地域の活性化や一体感の醸成に取り組む。				
年度概要	吹奏楽団事業 定期演奏会（年1回）をはじめ、市民の依頼や楽団企画による演奏会実施				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の種類	

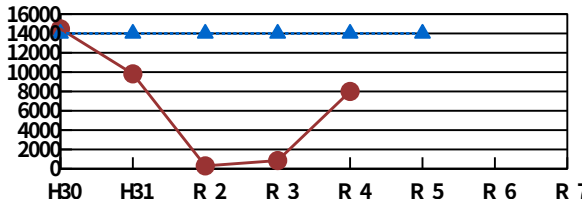
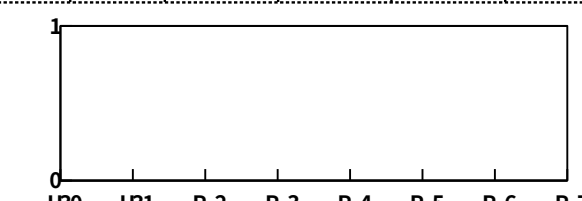
【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	吹奏楽団の広報活動によって、親しまれる市役所を目指すとともに、市民の市政への理解を深め、市政への参画を促す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 市民からの依頼や楽団企画に基づく演奏活動回数（年間）	回	4	6	21	20	35
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
聴衆者数（参加者数）		人	目標値	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
			実績値	300	850	8,000		
成果指標①	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベント等の開催が制限されたことから目標を達成できなかった。							57.1%
	◎聴衆者数（参加者数）実績 8,000 人 （目標 14,000 人）							19点
		(目標達成度)						
								
成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標②	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
		(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	4,362	4,879	5,170	5,954
（事業費）	〔円〕	621	1,104	1,428	2,212
（職員人件費）	〔円〕	3,741	3,775	3,742	3,742

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 新型コロナウイルス感染拡大の影響より、地域のイベントなど多くが中止となり、演奏機会が減少したが、定期演奏会については、感染症対策を行い開催することができた。 今後、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、演奏機会の増加が見込まれる。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 地域でのイベントや学校への訪問演奏などを通じ、市民との交流に努め、親しまれる市役所を目指すとともに、地域の活性化や一体感の醸成など、市政への理解や参画を推進するため、事業を継続して実施する。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策		参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	広聴広報課
	施策		参画・協働の推進		電話番号	087-839-2326
	基本事業		広聴・広報機能の充実	事業実施主体	市	
	事務事業		デジタル広報プラットフォーム構築事業	事業期間	令和 4年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	LINEやTwitterなどのSNSは、デジタル社会において手軽に利用できる生活に身近な情報ツールとなっている。市公式LINE「たかまつホットLINE」をリニューアルし、市政情報やイベント情報などを市民に、よりタイムリーに発信することで、効果的な情報発信を行う。				
年度概要					
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	

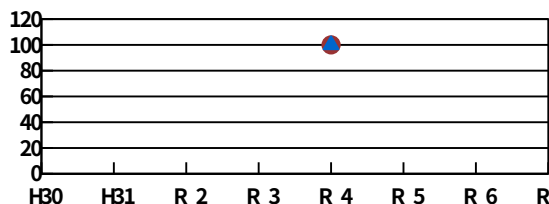
【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	市公式LINE「たかまつホットLINE」をリニューアルし、市政情報を市民によりタイムリーに効果的に発信する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 市公式LINEのリニューアル進捗率	%			100		
② 市公式LINEの登録者数	人			8,226		

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	プラットフォーム構築の進捗率	%	目標値			100		
			実績値			100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 100.0%
	令和4年12月に市公式LINE「たかまつ ホットLINE」をリニューアルし、令和5 年3月には道路の破損状況等を通報できる 「市民投稿」システムを構築した。	(目標達成度) 						
成果指標②	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	リニューアル前より新規登録者が約2,00 0人増加し目標を上回った。引き続き広報紙 やSNSを通じて利用を呼びかけ、登録者数 増加に努める。	(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔千円〕			16,460	0
（事業費）	〔千円〕			1,492	
（職員人件費）	〔千円〕			14,968	0

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	完了
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 令和4年度に市公式LINE「たかまつホットLINE」をリニューアルした。今後はリニューアルした市公式LINEを積極的に活用した情報発信を行い、登録者を増加させる必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 今後は、市民ニーズを踏まえた効果的な情報発信に取り組むとともに、市政情報だけでなく市の魅力を伝える情報発信を行うことで市民のシビックプライドの醸成を図る。			